排水設備工事チェックリスト

チェックは、責任技術者が実施して確認欄に☑を記入し、「排水設備等工事完了・公共下水道使用開始等届」に添付して提出すること。

年度	確認番号	指定工事店	責任技術者	最終確認日
				令和　　年　　月　　日

設置場所	申請者氏名

項　目		内　容	確　認
申請時	取付管の有無	下水道台帳及び現地で確認済か。	☐ 有　☐ 無
		「無」の場合、下水道法第16条申請は行っているか。	承認番号No.　－
	敷地内既設管の確認	新規の場合は新設、既設利用の場合は改造。	☐ 新設　☐ 改造
		「改造」の場合、宅内の分流化はできているか。	☐ 済　☐ 未
	排水先の確認	接続先の権利関係を確認し、同意を得ているか。	☐
	水洗化の確認	浄化槽からの切替の有無。	☐ 有　☐ 無
	その他手続きの有無	グリーストラップなど除害施設の有無。	☐ 有　☐ 無
		ディスポーザ排水処理システムの有無。	☐ 有　☐ 無
	取付管の状態	取付管に異状はないか。	☐ 有　☐ 無
		上記で「有」の場合、具体的に記入のこと。 ※施工に影響がある場合は、市へ連絡して指示を受けてください。	☐ 管が破損している ☐ 管内に滞留がある ☐ 取付管が曲がっている ☐ その他 （　　）
施工時	公共下水への接続	公共下水マンホールの打音により接続確認を行ったか。	☐
	配管及び桝の施工	管の口径、経路、構造等が適切であること。	☐
		取付管と最終桝との接続は適切か。	☐
		桝が適切な大きさ及び構造になっているか。	☐
	最終桝設置の確認	最終桝の口径はφ200以上、設置位置は境界から1.0m以内。	☐
竣工時	管及び桝の状況確認	雨水の桝底に、深さ15cmの泥溜めを設けているか。	☐
		桝の設置位置・深さが、基準及び竣工図面と整合しているか。	☐
		管の口径・管延長が、基準及び竣工図面と整合しているか。	☐
		勾配が、基準どおりに施工されているか。	☐
		通水試験時に滞留はないか。	☐
		※下水道法第16条の完了手続きは行っているか。（申請した場合）	☐